

しずおか市 介護相談員だより



2011年11月 第15号

発行：介護相談員だより
編集委員会

事務局：静岡市保健福祉こども局
福祉部介護保険課

TEL 054-221-1202

FAX 054-221-1298

ご挨拶

介護保険課 課長 沢滝博昭

みなさんこんにちは、介護保険課長の沢滝です。

3月11日に発生した東日本大震災では、多くの方が犠牲となり、今なお避難生活を余儀なくされている方が多数いらっしゃいます。被災された方々にお見舞い申し上げますとともに、安心して生活を送ることができるよう願っております。

また、静岡市でも8月1日深夜に震度5弱の地震が発生したり、9月21日には台風15号が上陸し多大の被害をもたらすなど今年は自然災害が非常に多いと感じております。

さて、介護保険課は、静岡市の介護保険制度を円滑に運営するために事業計画の策定、介護保険料の賦課徴収、介護サービスに係わる給付、要介護者の認定、サービス提供事業者の指定などの業務を行っております。平成23年度は、第5期介護保険事業計画策定の年であり現在骨子案を作成中であります。この事業計画の中で介護保険料がいくらになるか決まる訳ですが、人口が減少していく中で65歳以上の高齢者の方々の人数は徐々に増えていくことになります。介護相談員の皆様には、この施設利用者と施設の間に立ち、市民としての目線で利用者のお話を聞いていただいております。それが近年の苦情の減少や虐待の気付きに繋がっているものと考えております。

この介護相談員派遣事業は、厚生労働省が全国的な制度として介護保険制度施行と同時に実施され静岡市でも始められたものです。静岡市では現在34名の介護相談員さんが自宅とは異なる場所で生活している居住系サービス事業所へ派遣されており利用者の疑問、不安、不満などを事業者側に伝え、その解消を支援しています。最近では、市内に9カ所ある地域密着型サービスのグループホームなどにも徐々に派遣されており対象施設の数が非常に増加しているところです。また、介護相談員さんが自主的な勉強会を開催したり、今回の「介護相談員だより」を発行するなど精力的に活動され、その結果として静岡市の介護保険制度が円滑に運営されていると感謝いたしております。

介護保険課は、これからも介護相談員の皆さまのより身近な相談場所として、ご満足いただける窓口を、また、介護保険事業所と介護相談員をつなぐパイプ役として努力してまいりますのでどうぞよろしく願いたします。



介護相談員受入状況

介護相談員派遣対象の事業所	全事業所数	派遣受入事業所数 2011.10.1現在			
		葵区	駿河区	清水区	合計
介護老人福祉施設	30	10	7	12	29
介護老人保健施設	16	5	5	5	15
特定施設入居者生活介護	21	7	1	2	10
地域密着型	介護老人福祉施設	2	1		2
	特定施設入居者生活介護	2		1	1
	グループホーム	96	15	14	17
合計	167	38	29	36	103



こんな相談がありました



利用者さんからの相談等は事業所の皆さんの努力や工夫によって解決されています。

利用者さんの声！

相談員

施設にはこんな風に橋渡し

入浴時の見守りについて

1人で入れるので、誰も見てくれない。利用料を払っているのに、見守りにも来てくれないが安全のためにも来てほしい。
(グループホーム)

そうですね、見ていてくれたら安心ですね。そのことを話してみたことはありますか？私が代わりに話して良いですか？

「ご自分で入れることができる方も見守りは、してほしいと望んでいます」と伝えました。その後、対応して頂きました。



私の入居費用は

家族や身元引受人には、明細が知らされているが、私は何も知らない。かかった費用や家族負担はいくらになっているか知りたいが、直接施設には聞けない。
(特養)

大丈夫ですよ。事務所の相談員さんに聞けば教えてくれるはずですよ。私からも話しておきますが、貴女からも話してみてくださいね。

費用の負担について、不安を抱えているので説明をしてあげて欲しい。事務所では「個人個人費用が違うので、要請があればいつでも、お教えします」との事で施設からご本人へ伝えていただきました。

利用者同士の相性について

意地悪な言葉や、手を挙げられて嫌な思いをしている。席替えや部屋替えをしてほしい。「一緒に居るのがつらいよ」
(老健)

そう、それはつらいですね。何か良い方法が見つかると思います。

利用者のつらい思いを伝えた。施設の相談員から「1人だけ動かすのは難しいので、様子を見て席替えをさせていただきます。」と返事がありました。

見守って下さっているようです。

全国の相談事例がご覧いただけます。

特集！

3・11 東日本大震災・その時 しずおか！

東日本大震災によって、自然の力の大きさ、生命の尊さ、人の絆の有り難さなどを改めて思い知らされました。

多数の尊い人命が犠牲になられたことに対し、深く哀悼の意を表します。

私はその時刻『訪問活動中』でした…

駿河区 特養(石原・杉山)

地震と分かった時、利用者さんは職員さん、ご家族、そして私達の「わっ」と言う大きな声に反応し驚いた様子でした。施設長はじめ、職員さんが利用者さんの安全確認に走り回る姿を目にし「私達も何か手伝わないといけないのかな？」と思いながらも…。揺れが収まり利用者さんにも「ほっ」とした顔が見られ安堵しました。

駿河区 特養(竹島・成瀬)

大きな横揺れと同時に館内放送で「地震です」。何時もと違う様子に、驚いて泣き出す利用者さんも、そんな中で車椅子のブレーキを掛け、防災頭巾装着、人数の確認とすばやく職員が行動する。地震の揺れが収まると「怖かった、1人でなく皆と一緒に良かった」と利用者さんが呟いたが私達も同じ思いでした。

東日本大震災から思う事

☆☆☆利用者さんの安心のために☆☆☆

・ 清水区 介護老人福祉施設・施設長

あの日の揺れは、今でも忘れられません。もし、静岡県で大地震が発生したら……。施設での毎月の避難訓練、非常備蓄品、防災機器の点検、職員の心構えも万全です。大切な命を預かっています。家族の方々は、一人一人の安全を心配しています。私達の役割は、皆様に安心していただくことです。大きな地震のあとは、必ず安否確認の連絡を家族にとる事を今後も実施し、皆様に安心して利用して頂けるよう、毎日の介護に努めます。

・ 駿河区 グループホーム・ホーム長

私自身も、被災地へボランティアに行き、避難所で生活する認知症の方と関りましたが、認知症の方にとって、生活の場所が変わる事や不安は、精神状態に大きく影響を与えます。震災後2度の避難訓練の中で、利用者さんにご家族にお伝えした事は『私達はここにいる』という方針です。ここで生活し続ける事ができるためには、物品だけでなく地域の方やご家族の方との連携や協力が必要です。今後、地域との連携を強化していく事で利用者さんが安心できる体制を確保していきたいです。

☆ 今後の防災・災害対策アレコレ☆

- ・ 此処に居ない時、第一避難場所は〇〇 第二避難場所は〇〇 というふうにご家族には伝えてありますが、基本的には施設内に居ることにしました。(GH)
- ・ 火災を想定しての防災避難訓練を実施していましたが、今後は地震・津波を想定しての訓練や備蓄品の検討もしていきます。(老健)



～私たち相談員は新しい情報や基本を繰り返し学ぶことで、
より良い相談員になるよう目指しています～



平成23年度研修状況

実施月	内 容
5 月	第1回介護相談員情報交換会
6 月	自主ミニ勉強会
8 月	第2回情報交換会(藤枝市相談員との交流会)
9 月	平成23年度 全国介護相談活動事例報告会(東京)
〃	平成23年度 現任研修会(東京)
〃	自主ミニ勉強会
10 月	平成23年度 現任研修会(東京)
11 月	第3回情報交換会(施設職員との意見交換会)
2 月	第4回介護相談員情報交換会(予定)

[最近の全国研修の内容一部を紹介]

平成23年度全国介護相談活動事例報告会(東京)

☆9月12日(参加者 13名)

- ・基調講演 「老いの才覚」…
「自立」と「自律」で人生を生き抜く
講 師 曾野綾子 氏(作家)
- ・パネルディスカッション
「自立支援となるサービスが提供されている
パネリスト:池田省三 氏他 計3名
オブザーバー:厚労省老健局 政務官
コーディネーター:村田幸子 氏



介護相談員現任研修(東京)

☆9月21日～22日(研修参加者 13名)

☆10月24日～25日(研修参加者 4名)

- ・介護保険制度最新情報
「24年度介護保険法改正の概要」
講師:厚生労働省 老健局 介護保険計画課
老人福祉計画官 佐藤秀崇 氏
- ・相談事例に基づき「問題解決に向けたアプローチ」「相談記録票、活動報告書の作成」「実践活動における事例の検討」をグループワークにより学習。
講師 たむらソーシャルネットワーク 田村満子 氏



相談員の声



施設等利用されている方は、家族や本人の健康状態等、何らかの事情で入所されている方が多いと思います。その人達の不安や不満等に目を向け、じっくりとお話を聴き、施設でのより良い生活が出来るよう、お役に立ちたいと思いながら相談員活動をしています。

施設長の方針や理念のもと、各施設の色々な工夫が感じられます。利用者の方々がご自分の考えを言葉で出して言えて、楽しく安心安全に暮せる施設であるようにと願っております。

相談員を覚えていてくれて「待っていたよ」と言っていた時、その時から介護相談員としてスタートしたと感じます。人生体験をも教えていただき勉強になります。

相談員をして良かった事は、利用者さんのお話を伺い、施設に橋渡しする事によって、利用者さんや施設からも信頼され、同僚の相談員とも絆ができた事です。

どこの施設も職員さんが努力しているのが良くわかります。自分の老後を考える上で、施設にお世話になった時の心構えができました。

編集後記:

静岡市「介護相談員派遣事業」10年の節目の2011年。今回、編成された8名の委員により“気持ち新たに”編集に取り組みました。皆様のご意見をお聞かせください。

発行日 2011年11月1日
編集委員:石原幸子 榎本昭子 大村浩子 玉村豊子 外側志津子 長澤ミドリ 堀登志江 増田好司